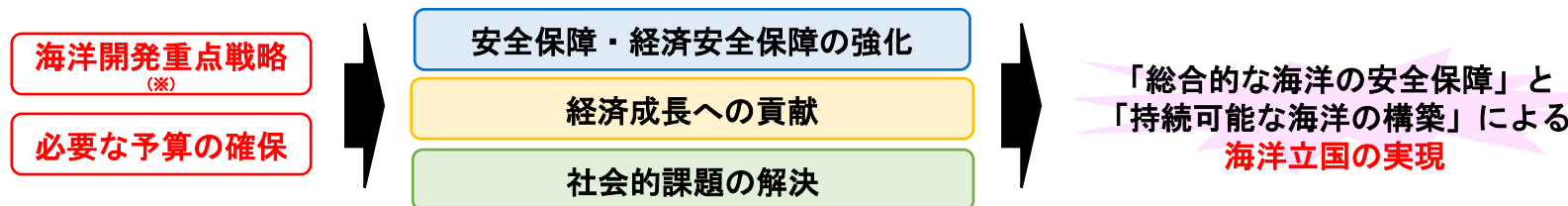


- 我が国は広大かつ深い海に囲まれた海洋大国（※管轄海域の面積は世界第6位、体積は世界第4位）。
- 近年、**経済安全保障の重要性や脱炭素社会の実現の必要性の高まり**を背景に、**海洋開発の必要性が急速に高まる**とともに、海洋開発を支える自律型無人探査機（AUV）、浮体式洋上風力発電やレアアース泥の採掘技術等の海洋関連技術の進展等により、**我が国の海洋開発は、ニーズ・シーズの両面から、新たな局面・段階に入りつつある。**
- このため、国益の観点から省庁横断で取り組むべき重要ミッションを対象に、**「海洋開発重点戦略」の策定と必要な予算の確保**を行うことにより、**我が国の海洋開発の拡大を加速**させ、
 - ① **我が国の安全保障・経済安全保障の強化**
 - ② **経済成長への貢献**
 - ③ **社会的課題の解決**を通じて**海洋立国を実現**する。

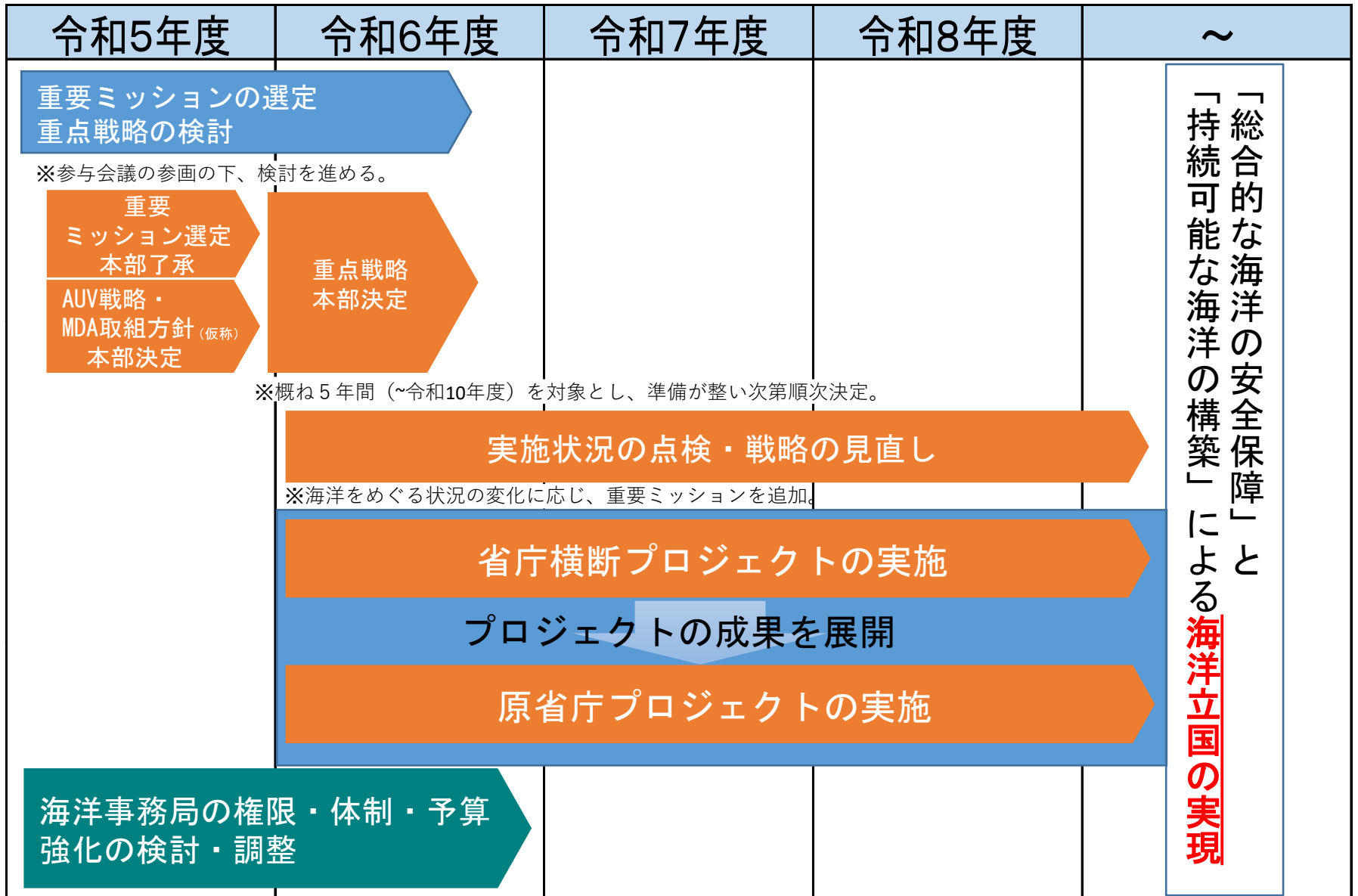


自律型無人探査機（AUV）



（※）海洋関連の分野は多岐にわたるが、海洋立国の実現に向けては、関係省庁等の取組に横申しを刺し、政府一丸となって取り組むことが肝要であることから、総合海洋政策本部決定にて策定する予定。

全体工程表（想定）



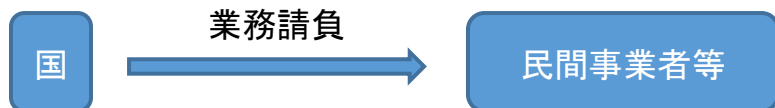
海洋開発重点戦略に基づく海洋政策の推進（内閣府総合海洋政策推進事務局）

令和6年度概算要求額 **3.6億円**【重要政策推進枠】
（5年度予算額 0.2億円）

事業概要・目的

- 「総合的な海洋の安全保障」及び「持続可能な海洋の構築」を大きな2つの柱とする第4期海洋基本計画が令和5年4月に閣議決定されました。
- 改定された第4期海洋基本計画の下、国益の観点から省庁横断で取り組むべき重要なミッションの実現に向けて、今後、複数年度を視野に入れた「**海洋開発重点戦略**」を総合海洋政策本部決定により策定し、関係省庁をはじめとした関係者が一丸となって強力に取組を進めていく方針です。
- フロンティアである海洋の開発を強力に推進することにより、「**総合的な海洋の安全保障**」と「**持続可能な海洋の構築**」を実現するとともに、**新たな産業の創出**や我が国の海洋関連技術・取組の**国際展開**により、我が国の海洋立国としての力強い成長を実現することを目指します。

主な資金の流れ



事業イメージ・具体例

- 自律型無人探査機（AUV）等の**デュアル・ユース・テクノロジー**や、**海洋資源開発等の新たな技術の活用や環境整備等の重要性が高まっている**ことを踏まえ、令和6年度は、省庁横断で取り組むべき重要なミッションであって、可及的速やかに着手すべき以下の項目について、海洋開発重点戦略の実行等に向けた調査検討を行います。
 - ・ 自律型無人探査機（AUV）の開発・利用
 - ・ 南鳥島とその周辺海域の開発の推進
 - ・ 海洋状況把握（MDA）の能力強化等



➡ 海洋開発重点戦略及びその実行のための予算の確保により、**国益の観点から重要な取組を強力に推進**

期待される効果

- 海洋の安全保障、海洋の産業利用の促進など、我が国の国益に資する課題について、各省を横断して総合的・戦略的に推進し、海洋立国の実現につなげます。